

公民館 おうたき 令和3年 2月号

『 節 分 』

2月3日は節分の日です。節分には様々な言い伝えがありますが一説には、冬から春への季「節」の「分」け目には魔物が住んでいるとされ、病気や飢饉をもたらすと言伝えられました。その魔物が「鬼」として扱われ、炒った豆をまくことで魔物（鬼）を追い払い、福を招きいれるとされています。また、豆を食べることでたんぱく源を体内に取り入れ、丈夫な体をつくるといった効果も先人の知恵として伝えられています。もうしばらく寒い季節が続きます。どうぞ、健康にはご注意ください。

どんど焼き！ ～村内各地区 どんど焼き行事 1月14日（木）～



上条区小川



中越区

一月十四日。村内各地でどんど焼きの行事が行われました。今年は新型コロナウイルス対策をしながらのどんど焼きとなりました。各地区で毎年楽しみにしていた飲食は中止となり、松飾やだるまなどを焚き上げ団子を焼くだけのシンプルなどんど焼きになりました。地区の皆さんが集まり、組まれた松の櫓に火が灯されると「パチパチ」という音と共に、真っ赤な炎に包まれモクモクと煙が天高く上がりました。「早くコロナが収まるように」と言いながら家から持ち寄ったお団子を焼き、集まった人の会話も弾み笑いに包まれました。コロナ禍であっても対策をしっかりとって、大人も子どももみんなが集まり、お団子を焼き、ふれあい、たくさん笑う事が無病息災をもたらすのでしょうか。今年も一年、健康でありますように。



野口区



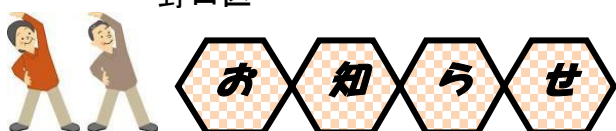
下条区



東区



上条区山田



「にこにこ 軽体操教室」2月の予定

簡単な体操やレクリエーションゲームを取り入れ、どなたでも楽しく運動ができます。ぜひ、ご参加ください！！

◇ 期 日：2月12日（金）と22日（月）
午前10時～

◇ 場 所：村公民館 体育室

※送迎も行いますので気軽にご連絡ください。



「わくわく人権みんなの樹業(じゅぎょう)」

小中学生の皆さんと楽しく、人権について学びます。
お気軽にご参加ください

◇ 期 日：2月24日（水）朝8:10～8:35

場 所：小学校ホール『今年嬉しかったこと』

サークル・教室等の予定（2月）

サークル・教室	開催日	時間	場所
生け花	毎週月曜日	17:00～ 18:00	村民ひろば
星林俳句会 俳句投稿募集！	2月24日(水) 【冬季雑詠】	9:30～ 11:30	洋 間
絵手紙	2月8日(月)	10:00～ 11:30	村民ひろば
手 芸	2月16日(火)	10:00～ 11:30	和 室
卓球教室	毎週火曜日	18:30～ 20:30	体育室

■陶芸教室 冬期間はお休みします。春季よりスタート！
どなたさまもお気軽にご参加ください！

わくわく人権みんなの樹業（じゅぎょう）

自分ならどう感じる？ ～自分も大事、相手も大事～

1月14日（木）学校の小ホールで「わくわく人権みんなの樹業（じゅぎょう）」が開かれました。まずは「感染症予防じゃんけん」で身体も気持ちも温めてたところで、コロナ禍において社会で起こっている事に自分自身がどう感じるか村民の皆さん方と考えました。

鬼は悪い事をするから、やっつけた方がいい？



【そう思う】意見

- ・自分の心の中の鬼として、弱い心をやっつけたい。

【そう思わない】意見

- ・やっつけなくてもいいのでは・・・

【どちらとも言えない】意見

- ・鬼の中には悪い鬼ばかりではなく、いい鬼もいるので一概にやっつけられない方が良くと思う。



新型コロナが流行っています。あるスーパーに張り紙がありました。「〇△町以外のひとは、立ち入り禁止」これは正しい？



【そう思う】意見

- ・感染拡大を防ぐためにはやむを得ないと思う。

【そう思わない】意見

- ・〇△町以外の人をお店に入れない事は差別につながるから良くないと思う。
- ・用事があってお店に行ったのに入れないのはかわいそう。



今後、村でも起こりうる問題だけに皆さん真剣に取り組む、児童、生徒、大人がそれぞれの立場で自分なりの考えをしっかりと発表し、お互い、学びあいの時間となりました。

村民の皆さんからの俳句大募集！

公民館及び星林俳句会では、皆さんからの俳句を募集いたします。併せて、星林俳句会への会員も募集しております。

また、「一回だけでも俳句会に参加してみよう」とか「とりあえず、俳句の投稿だけでも」も構いません。

みなさん「五・七・五」の魅力を堪能しましょう！

■俳句の投稿先

王滝村公民館 担当 池本

■投稿締切日

二月十七日（水）

■二月の季題

「冬季雑詠」

■二月の俳句会

二月二十四日（水）

午前 九時三十分～



季題「新年一切」提供 星林俳句会

- 一 二日はや机上に崩る本の山
- 二 初夢の覚めて浮世の涙かな
- 三 コロナ禍に身動きならず去年今年
- 四 この星の行く末想う冬銀河
- 五 故郷をこの一椀に雑煮かな